

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 11 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	施設には、苦情等窓口・お客様情報の箱を設置してご家族の面会時に直接ご希望や意見をお聞きしていますが、ご家族の方からの要望の声が少ない。	家族の方からの本音の思いが言える施設にする。(安心して家族の介護を任せる事が出来る施設)	施設にみえたボランティアの方等の第3者の方からの施設への要望を伺う。(家族の方が第3者の方に要望を話している可能性がある)家族の方の面会時にそれとなく要望が言える雰囲気を作る。	12ヶ月
2	27	日常生活の中で入居者の方の表情の悪い時をセンター方式の焦点情報で情報収集しているが、穏やかな生活が日々継続されることがない。	入居者のその時どきの心情を察する事により日々穏やかな生活を送る事が出来る。	センター方式の焦点情報を引き続き記入して、不穏となる時間・言動・環境等の問題点を職員全員で検討し穏やかに過ごせる事の取り組みをする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。